## **E-Post Mail Server**

添付ファイル分離配送&ファイル受信通知機能

## SMTP ゲートウェイ

# 構築運用ガイド

### E-Post Mail/SMTP Server を使った

### 添付ファイル分離配送&ファイル受信通知機能 SMTP ゲートウェイ

添付ファイル分離配送&ファイル受信通知機能 SMTP ゲートウェイ

メール送信作業そのままで、添付ファイルを自動的に分離し WEB サーバから添付ファイルをダウンロードすることを実現します。

#### ▼ 添付ファイル分離配送&ファイル受信通知機能 SMTP ゲートウェイ構成図



注)

※この機能は E-Post SMTP/MAIL Server 最新版に追加された新機能です。

※WEB からの添付ファイルのダウンロードには、IIS 若しくは Apache のような WEB サービスがインストールされていること が前提です。

メリット

[内部からの送信対策]

- 添付を送信する場合に、利用者に余計な作業が追加されません。
   メール送信するだけで、送信作業は1ステップで完了します。
   パスワード付き ZIP ファイル+テキストにパスワードのメールを送信する場合、パスワードはメールとして、添付ファイルは WEB を通じた取得が可能になります。(PPAP 問題)
- 誤ったメール添付内容を送った場合、相手先が添付をダウンロード前であればメールが届いていても取り消すことが可 能です。
  - 誤送信対策 取り消し方法は、ブラウザから指定リンクを開きメール番号を入力するだけです。
- 設置が簡単です。
   従来使用している SMTP サーバの前段に SMTP ゲートウェイとして設定するだけです。

[外部からの受信対策]

設定条件により、外部から送られてくるメールも添付分離して利用者にはテキストのみのメールが届きます。
 ウイルス対策

Emotet に代表される添付されているファイルが未知のウイルス付きのメールを利用者から極力排除できるようになります。

メールボックス使用の容量が軽減されます。
 添付付きのままのメールが届くよりテキストのみのメールのため各ユーザのメールボックス使用量が軽減されます。

PPAP とは、パスワード付きファイルでメール送信することで、具体的には以下の略とされています。 Password 付き ZIP 暗号化ファイルを送ります Password を送ります A ん号化(暗号化) Protocol(プロトコル:手順)

今までは、取引先等に資料添付の際、パスワード付き ZIP ファイルを使ってファイル送付が便宜的に行われていましたが、 平井デジタル改革担当大臣は 2020 年 11 月 24 日の記者会見において、内閣府と内閣官房で PPAP を 11 月 26 日に廃止すると 発表したことがきっかけで、PPAP 代替方法が模索されるようになりました。

そこで、(株)イー・ポストでは E-Post Mail Server を利用した、簡単にできる PPAP 代替環境の構築の方法を紹介します。

#### 設定手順

※以下の1~2の設定手順は、サポートサイトから getattach-v1.xx.zip をダウンロードし任意のフォルダに展開して含まれる inst.bat を実行することで作業がスキップできます。

#### 手動で設定する場合。

- 1. E-Post Mail Server の任意のメーリングリスト(例: attach-arc@my-domain.jp)を作成します。
- 2. メーリングリストの詳細設定を以下のように行います。
- ▼ メーリングリスト詳細設定画像



[添付ファイル削除する]	チェックする。
["FROM"では使用しない。]	チェックする。
[Repry-To:ヘッダを付加する。]	チェックしない。
[拡張ヘッダーを付加する。]	チェックしない。
[投稿内容を保存。]	チェックする。
[保存フォルダ]	WEB サーバから参照できる任意のフォルダを指定します。
[未送信レポート返信先]	返信しない。
[入会要求は管理人へ転送]	チェックする。
[退会要求は管理人へ転送]	チェックする。
[管理人アドレス]	任意のアドレスを登録します。
[投稿者の条件]	誰でも
[結果応答しない。]	チェックする。
[メンバーリスト]	メンバーは登録しません。(空欄)

その他以下の拡張設定ファイルを作成し登録します。

a. 投稿内容保存時に index.html の作成をしないように'0'を以下のファイル名

で保存します。(デフォルト 1:作成する 0:作成しない。)

<メール作業フォルダ>¥REG¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥Lists¥<メーリングリスト名>¥ListSaveHTMLIndex.1

b. 投稿内容保存内容を受信メールのイメージのまま保存するため、'1'を以下のファイル名で保存します。

(デフォルト 1:作成する 0:添付ファイル削除するオプションに依存する)

<メール作業フォルダ>¥REG¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥Lists¥<メーリングリスト名>¥ListSaveOrign.1

c. 投稿内容保存時先からダウンロードするための URL(例:https://www.my-domain.jp/attach-arc/)を以下のファイル 名で保存します。

(デフォルト 空白)

<メール作業フォルダ>¥REG¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥Lists¥<メーリングリスト名>¥ListSaveURL.2

d. 投稿内容保存時のファイル拡張子を'MSG'から'EML'に変更し保存します。

(デフォルト 空白)

<メール作業フォルダ>¥REG¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥Lists¥<メーリングリスト名>¥ListSaveExtension.2

以上でメールサーバ側の設定は完了です。

#### inst.bat で設定する場合。

- 1. サポートサイトから getattach-v1.xx.zip をダウンロードし任意のフォルダに解凍します。
- ▼ getattach-v1.xx.zip 解凍フォルダ画像

	/1.00g 表示						- 0	× ^ (?)
クイックアクセス にどン留めする クリップオ	★ 切り取り ★ 切り取り ★ パスのコピー ★ ジョートカットの貼り付け ポード	移動先 コピー先 整理	× 三 削除 名前の 変更 星	しい 新しい フォルダー 新規	ער די גער די גער די גער די	<ul> <li>□ 間く →</li> <li>□ 編集</li> <li>● 履歴</li> <li>■</li> </ul>	■ すべてき 選択解 ● 選択の 選択の 選択の	21 開除 切り替え R
← → ~ ↑ 📕 > PC	> ダウンロード > getattach-	v1.00g			~ ē	0	getattach-	v1.00g
🔮 HP01 Ø E 🔷	名前		更新日時	1	重類		サイズ	
🛫 HP01 ወ F	III getattach.exe		03/03/16 5:	59	アプリケーション	2	116 KF	
My Web Sites c	getattach-emldelconfi	rm.html	03/03/16 6:0	08 H	HTML F#1	メント	2 KE	
➡ ダウンロード	getattach-emldelfaile.	html	03/03/15 16	x31 H	HTML ドキュ;	メント	1 KE	
getattach-v1.	getattach-emidelnotfo	ound.html	03/03/15 16	x31 H	HTML F+1	メント	1 KE	k
デスクトップ	getattach-emidelsucce	ess.html	03/03/15 16	x31 H	HTML ドキュ;	メント	1 KE	
A 15+7×11	getattach-expire.html		03/03/11 11	:30 H	HTML ドキュ;	メント	1 KE	
	getattach-list.html		03/03/11 11	:30	HTML ドキュ;	メント	1 KE	i.
E777	🗿 getattach-notfound.ht	tml	03/03/11 11	:31	HTML ドキュン	メント	1 KE	
📓 ८न्त	inst.bat		03/03/17 6:	34 \	Nindows /	ッチ ファ	5 KE	E
ションシック	txt message.txt		03/03/14 12	511 7	Text Docum	ent	1 KE	
📲 フロッピー ディスク	txt readme.txt		03/03/16 5:	57 1	Text Docum	ent	4 KE	E.
🛀 OS (C:)	💿 uninst.bat		03/03/15 17	:06 \	Nindows パ	ッチ ファ	2 KE	
🔐 DVD ドライブ (D:								
👝 ボリューム (F:)								
ボリューム(1:)								
12 個の項目						-		

2. 管理者用のコマンドプロンプトを起動し、対応したフォルダに移動して、"inst.bat"を起動します。

設定に必要な事項を入力し、間違いがなければ、'Y'を入力して設定を開始させます。

#### ▼ inst.bat 実行画像



※CGI を利用するには、事前に Web サービス(IIS, Apache 等)の準備が必要です。

※設定する CGI(getattch.exe)には、Web サービスからの"ファイルの読み書き削除"可能な権限が与えられている必要がありま

す。(eg.管理者権限など)

以上でメールサーバ側の設定は完了です。

#### 運用方法

1. 実際のメールの送信時に、[TO or CC:送信先アドレス]と[BCC:メール原本をアーカイブするメーリングリスト]で添付付きの メールをそのまま送ります。

[TO or CC:送信先アドレス]には、添付ファイルのみが削除され、末尾に"メール原本をアーカイブしたリンク"が追加された メールが届けられます。

※ なお、BCC 設定が面倒という場合、E-Post Mail/SMTP Server の

[ログ設定]の[複写転送アドレス]に[BCC:メール原本をアーカイブするメーリングリスト]を登録することで、BCC にアドレス追加が不要になります。

(常時、添付付きのすべてのメールに対して、添付内容を削除送信が可能になります。)

2. 受けとったメールからリンクをクリックして、WEBサーバからファイルをダウンロードしてください。

#### ▼ 受信メール例1

受信メールの下部にインラインテキストが表示できるメールクライアントでダウンロード先のリンクが挿入されたメールとして表示されます。

インライン表示が禁止されていたり、表示機能が無い(Windows 10 メール)メールクライアントもありますのでご注意ください。

※ Microsoft 製の Outlook では"Content-Disposition:"ヘッダにファイル名が指定されていないと無題の添付ファイルとして表示されるようです。



#### ▼ 受信メール例 2



#### ▼ 受信メール例 3



#### ▼ 挿入文記述例1(メモ帳等で直接編集)

挿入される文章は"<保存フォルダ>¥message.txt"というテキストファイルを作成し、MIME ヘッダ及び空白改行後に挿入文

(URLの記述は不要)を作成し保存してください。

(UTF-8 で作成する場合は BOM 無しで作成して下さい。)

メモ帳などで直接編集が面倒な場合はブラウザから CGI を経由して編集することも可能です(挿入文記述例2を参照下さい。)



#### ▼ 挿入文記述例 2 (ブラウザ: CGI からの編集)

ブラウザ:CGIからの編集を行う場合は、以下のリンクを開いてください。

http://<my-domain.jp>/cgi-bin/getattach.exe?cmd=syr

編集パスワードの入力要求ページが開きます。

編集パスワードは、getattach.exeをinst.batで設定した際に登録した管理用パスワードのことです。

e	🕒 Login		× +	
$\leftarrow$	$\rightarrow$ C	ଜ	▲ セキュリティ保護なし   ■■ LIII /cgi-bin/getattach?	

ここから挿入するメッセージのヘッダ情報と文章を編集します。

編集パスワード メッセージ編集する

Powered by E-POST Inc.

#### 正しく編集パスワードが入力されると編集画面が開きますので文章を編集して下ださい。

$\leftarrow \rightarrow$	C G A セキュリティ保護なし   1001 201/cgi-bin/getattach
メッセー	ジの編集
挿入方法	インライン 🗸
挿入名	添付はここです.txt
	漆付ファイルは以下のリンクから ダウンローボルてください。
	/日後には削除されます。
メッセー	
	設定する
Doworod	by E BOST Inc
Fowered	
挿入方法	挿入文章を <b>インライン</b> として扱うか <b>添付ファイル</b> として扱うか選択します。 デフォルトは <b>イン</b> ラ
挿入名	挿入文章を MIME として挿入する際の任意のファイル名を指定します。必ず拡張子".txt"を末尾

メッセージ 挿入文章を記載する欄です。

※ EML 形式原本のダウンロードでは、展開がわずらわしいと感じる場合は、EML 形式のファイル内の添付ファイルを自動ダウンロードする CGI ツール(getattach.exe)がサポートサイトからダウンロードできます。
 getattach.exe での設定方法は、getattach-v1.xx.zip をダウンロードし、含まれる readme.txt を参照し設定を行ってください。

実際に公開運用される場合は、保存された EML ファイル自体は WEB からアクセスできない箇所に保存し添付ファイルを抽 出することでよりセキュアなファイルの取得が可能です。

getattatch.exeのダウンロードでは、ダウンロード可能な有効期限を設定することが可能です。

#### ※CGIを使った添付ファイルの取得方法

受信したメールに付属している url.txt を開くと URL が記載されていますのでブラウザで開くだけで、ダウンロードが実行されます。(箇所は任意です。)

http://<my-domain.jp>/cgi-bin/getattach.exe?eml=<EML 形式のファイル名>

#### ▼ リンク先のページ画像

添付のダウンロードが可能なユーザは、送信者と送信先(To:とCc:)のみに限定(Bcc:は対象外)されます。

Get confirm.	× +
$\leftarrow \rightarrow$ C @	▲ セキュリティ保護なし   1001 日本 は はまままままま ===?eml=
メールの添付ファイルを	ここからダウンロードできます。
あかたのアドレス	
ダウンロー	×する
Powered by E-POST In	 c.

#### ▼ 複数添付の場合のページ画像



#### ※CGIを使った添付ファイルの削除方法

削除を前提として運用する場合は、メール送信時に必ず自分あての同報を行ってください。 同報されたメールには、に付属している url.txt を開くと URL が記載されていますので、eml=<EML 形式のファイル名>の箇所 を削除する際に指定します。

削除の専用のリンクは、以下のリンクをブラウザで開きます。(<my-domain.jp>箇所は任意です。) http://<my-domain.jp>/cgi-bin/getattach.exe?cmd=req

を開くと各ユーザでの一致するファイルが存在する場合に削除が行うための入力画面が開きますので操作を行ってください。

#### ▼ 削除ページ画像

e	De De	l <mark>ete co</mark> r	n <mark>firm</mark> .	× +	
$\leftarrow$	$\rightarrow$	С	ഹ	▲ セキュリティ保護なし   Mail + g hange - cmd=req	
					1
あな	たが送	った迫	を信済る	yメールの添付ファイルをここから削除できます。	
あな	たのア	ドレフ	z		
削除	するメ	-110	ワファ-	イル名	
			(	削除する	

Powered by E-POST Inc.

3. 外部からのすべてのメール受信時に添付分離し、およびメール送信時に BCC に追加しないで強制的に添付分離するには。 E-Post SMTP/Mail Server (epstcontrol.exe)を起動します。

本設定は、EPSTRS のサービス再起動後に有効になります。

#### a)外部からのメールも含め全てのメールに対し添付分離を行う場合。

[ログ設定]タブを選択します。

複写転送アドレスとして、上記で設定した、メーリングリストアドレスを追加します。

▼ 設定画像1

iest-arc i@		
複写転送アドレス:	test-arc1@	

#### b)特定のユーザ(メールアドレス)のみを添付分離を行う場合。

[ログ設定]タブを選択します。

複写転送アドレスとして、上記で設定した、"**<添付分離したいメールアドレス>|<メーリングリストアドレス>**"を追加します。

ここで指定する**<添付分離したいメールアドレス>**は、インバウンドのメール受信時にもアウトバウンドのメール送信時にも、いずれも エンベロープ FROM で指定されるアドレスやドメインを意図して指定することになります。

エンベロープ TO ではありませんので注意してください。

<添付分離したいメールアドレス>には、ワイルドカード'\*'指定も可能です。

▼ 設定画像2

KK@ Jpitest-arc i@	C. And	
複写転送アドレス:		

#### c)特定のユーザ(メールアドレス)を除外して添付分離を行う場合。

[ログ設定]タブを選択します。

複写転送アドレスとして、上記で設定した、"**<添付分離除外メールアドレス>,0|<メーリングリストアドレス>**"を追加します。

ここで指定する**<添付分離したいメールアドレス>**は、インバウンドのメール受信時にもアウトバウンドのメール送信時にも、いずれも エンベロープ FROM で指定されるアドレスやドメインを意図して指定することになります。

エンベロープ TO ではありませんので注意してください。

<添付分離したいメールアドレス>には、ワイルドカード'\*'指定も可能です。

▼ 設定画像3

kk@*.jp,0 test-arc1@	Section 201	
複写転送アドレス:		

#### d. 特定のユーザ(メールアドレス)の添付分離とこのユーザに同報を行う場合。

[ログ設定]タブを選択します。

複写転送アドレスとして、上記で設定した、"**<添付分離したいメールアドレス>,3|<メーリングリストアドレス>**"を追加します。

ここで指定する**<添付分離したいメールアドレス>**は、インバウンドのメール受信時にもアウトバウンドのメール送信時にも、いずれも エンベロープ FROM で指定されるアドレスやドメインを意図して指定することになります。

エンベロープ TO ではありませんので注意してください。

<添付分離したいメールアドレス>には、ワイルドカード'\*'指定も可能です。

#### ▼ 設定画像4

KK@ JP, Strest-are re	0	
複写転送アドレス:		

4. 一定期間公開したら、ファイルの削除を行ってください。

削除を自動化したい場合、WINDOWS ならタスクスケジューラに、UNIX 系なら crontab にて定期的に削除操作するスクリプト を登録すると便利です。

更新日が古いファイルを削除するスクリプト例

#### WINDOWS の場合:1日経ったものを削除

forfiles /p c:¥<attach-arc-dir> /d -1 /m "\*.EML" /c "cmd /c del @file"

#### UNIX 系の場合:1日経ったものを削除

find ./<attach-arc-dir> -mtime +1 -name "\*.EML" | xargs rm -f

## 発売元 株式会社 イー・ポスト

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-33-14 サンフラワービル

TEL. 03-5272-5386 FAX 03-5286-2610